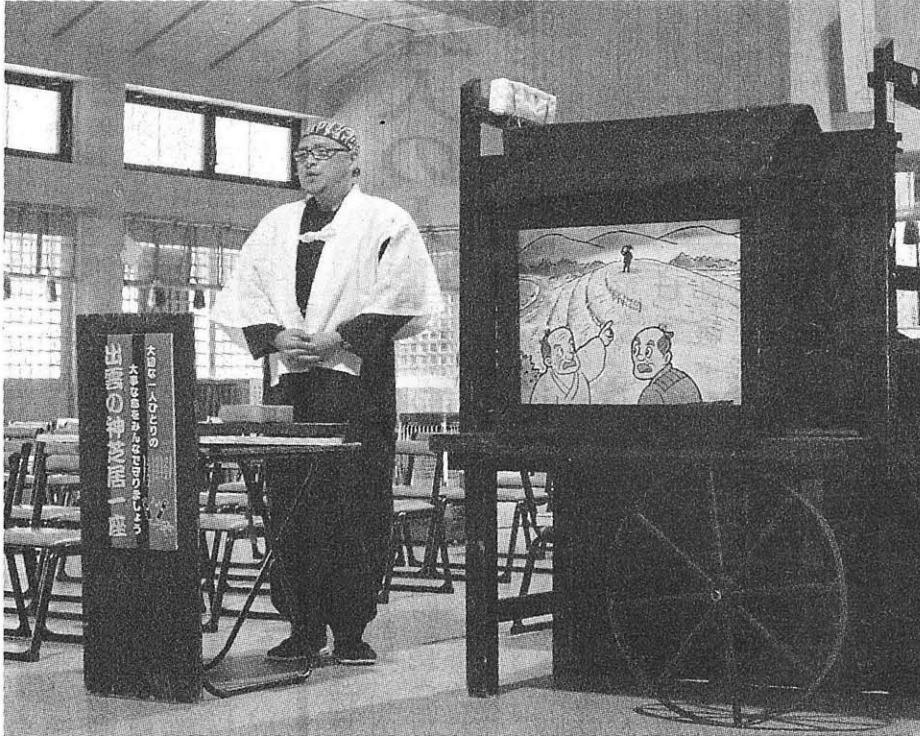


出雲大社で奉納紙芝居

「出雲の神芝居一座」松田さん

神話や地域の偉人を題材にした紙芝居口演などを通じてまちの活性化を図る活動を行っている「出雲の神芝居一座」の松田順さんが二十三日、出雲市大社町杵築東の出雲大社で奉納紙芝居口演を行った。

新作「大梶七兵衛」含め3作品を



神前で神芝居を披露する松田さん。23日、出雲市大社町杵築東、出雲大社仮拝殿で

新作紙芝居「治水の偉人伝 大梶七兵衛」の完成を契機として実現した今回の奉納。仮拝殿で神職による祝詞の奏上、巫女による舞いなどが行われた後、江戸時代に活躍した郷土の偉人、大梶七兵衛による荒木浜の開拓から高瀬川の掘削、来原岩樋の完成までを追った「治水の偉人伝 大梶七兵衛」ほか、国引き神話を題材にした「出雲神話 くにびきのおはなし」、ヤマタノオロチ伝説を題材にした「やまたのおつち」の三作品を神前で披露した。

口演後、神職から「神話や地域の偉人を伝えることで、地域活性化へより一層寄与してください」と声を掛けられた松田さんは、感極まった様子で「ご縁、お陰を強く感じました。ご協力いただいた皆さまに本当にありがとうございました」と話した。妻の由紀さ

んは「本人が一番喜んでいきます。これからも地道に頑張っていきたい」とエールを送っていた。

「治水の偉人伝 大梶七兵衛」の制作にあたっては、財団法人人間自然科学研究所（小松昭夫理事長）が既に発刊している、大梶七兵衛に関する小説、漫画、児童文学などを題材としており、このうち漫画「治水の偉人伝 大梶七兵衛」の著者であり、今回紙芝居への絵を新たに書き下ろした寺戸良信さんも奉納に参加し、「初めての経験。感激しました」と目を輝かせていた。また、様々な面から協力を行った同研究所の小松理事長は「紙

芝居には言葉と映像から来る感動の渦を生む力があり、そこが一番の魅力。出雲から元気を全国に、世界に発信してほしい」と期待を寄せていた。

紙芝居口演についての問い合わせは「出雲の神芝居一座」松田さんまで（電話0855・24・0381）まで。